

長期優良住宅制度のあり方検討会とりまとめ骨子（たたき台）

冒頭に、検討会のスタンスを明記。

- ・ 課題を洗い出すことに主眼を置き、現行制度を前提とせず幅広く検討。
- ・ 見直しの方向性を示し（具体策は例示にとどめ）、国交省に対しこの方向性に沿って引き続き検討を深めることを要請。

（構成）

1. 長期優良住宅制度に対する評価と課題

（1）評価

- ・ 住宅の性能向上、消費者、事業者の意識向上に関して一定の評価（アンケート結果を要約）

（2）課題

- ・ 認定実績を見ると、共同住宅の認定が進んでいない、戸建住宅でも中小事業者の参入が遅れている
- ・ 流通時に認定住宅が評価されていない 等

2. 今後の取組の方向性

（1）性能表示制度との一体的運用等

（2）共同住宅の認定促進

①認定基準

②認定の枠組み

（3）中小事業者の認定取得の促進

（4）流通時に評価されるための環境整備

（5）インセンティブ

（6）その他

末尾に、並行して検討が進められている関連施策と連携するよう要請。

- ・ 次期住生活基本計画の検討。
- ・ 住宅瑕疵担保履行法施行10年を見据えた見直し検討 等。